

私立大学図書館協会 2025 年度第 2 回東西合同役員会議事要録

日 時：2026 年 3 月 6 日（金） 13 時 00 分～14 時 40 分

開催方法：Web 会議

出席者：名簿のとおり

進行は難波功士会長（関西学院大学図書館長）が担当し、議事に先立ち、会長より接続確認を兼ねて出席確認を行った。また、議決権の有無の確認があり、議事録作成のため Zoom でレコーディングさせていただく旨の説明があった。

[報告事項]

1. 協会会務報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p.1～8）に基づき、報告があった後、国際図書館協力特別会計については、国際図書館協力委員長（中部大学・高木）より補足説明があった。また、東地区監事校（明治学院大学・鈴木）より、資料の修正点（p.1 ② 2025 年度加盟申込校 誤：西地区 0 校 ⇒ 正：東地区 0 校）のほか、総会・研究大会特別会計（p.8）の事務局経費の雑費について指摘（荷物発送代（切手代）は通信費となるのではないか）があり、会長校でも改めて確認することとなった。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校（中央大学・渡来）より、配付資料（p.9～12）に基づき、報告があった。

3. 西地区部会会務報告

配付資料（p.13～22）に基づき、西地区部会長校（福岡大学・上畠）ならびに各地区協議会理事校より、報告があった。なお、西地区阪神地区協議会理事校（大阪体育大学・伊藤）より資料の修正（p.19（2）運営委員会③第5回運営委員会の「4. その他」の下に「協議事項」と並列となる「その他」を挿入）の申し出があった。

4. 委員会報告

（1）協会賞審査委員会

協会賞審査委員長（龍谷大学・村上）より、配付資料（p.23）に基づき、報告があった。

（2）研究助成委員会

研究助成委員長（立教大学・平井）より、配付資料（p.23）に基づき、報告があった。

（3）国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員長（中部大学・高木）より、配付資料（p.24～26）に基づき、報告があった。

5. 協会関連事項報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p.27～28）に基づき、報告があった。

6. 2026 年度行事・会議予定

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 29）に基づき報告があり、昨年度からの変更点として、東地区部会総会、私立大学図書館協会総会におけるメール会議の開催期間を1週間から2週間へ延長した旨の補足説明があった。

7. 第 86 回（2025 年度）総会・研究大会報告

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 30～35）に基づき、第 86 回（2025 年度）総会・研究大会アンケート集計結果について報告があった。

8. 日本図書館協会代議員選出

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 36）に基づき報告があり、加えて資料にある 2026～2029 年度の日本図書館協会代議員候補として選出した 3 名については、正式に代議員として選出されたこと、私図協からの代議員交代についての要望書を提出したことについて、日本図書館協会大学図書館部会長校（慶應義塾大学）より、別途、連絡があった旨の補足説明があった。

[協議事項]

1. 2026 年度事業計画（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 37～38）に基づき説明があり、協議の結果、承認された。なお、本件は第 87 回（2026 年度）総会の審議事項となる旨の補足説明があった。

2. 2026 年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 39～41）に基づき説明があった後、国際図書館協力特別会計については、国際図書館協力委員長（中部大学・高木）より補足説明があった。なお、現時点の予算（案）は、今後、繰越金等で一部修正が入るため、2026 年度常任幹事会、東西合同役員会で審議予定であり、正式承認される 2026 年度総会まで、暫定予算として承認され、併せて4月以降の暫定執行についても承認された。また、「国際図書館協力会計」と「基金特別会計」の双方に同じ「基金」という科目名称が使われてるとの指摘が複数あり、規程類を参照しながら、正式な科目名称に変更することで区別することになった。

3. 第 87 回（2026 年度）総会・研究大会（案）

次年度総会・研究大会当番校（崇城大学・早見）より、配付資料（p. 42）に基づく説明とともに、講師選任の経緯ならびに講師のプロフィール紹介等について補足説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。

4. 2025 年度協会賞（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 43～45）に基づき説明があり、協議の結果、提案のとおり承認された。

5. 「役員校活動費」運用内規及び「委員会活動費」運用内規 改正（案）

会長校（関西学院大学・服部）より、配付資料（p. 46～48）に基づき説明され、協議の結果、資料の修正（「役員校活動費」運用内規に追加した「（委員会は陪席も可）」の文言を削除、「委員会活動費」運用内規に追加した「・通信費」の表現）を確認した後、承認された。

[その他]

1. 「資料1. 東西役員校・当番校一覧」の西地区分（資料1-②、③）について、西地区監事校（中部大学・高木）より、前西地区部会長校就任時に準備した委員会委員および会報担当校のローテーション表があるため、それも加えて情報共有してはどうかとの意見があり、会長校（関西学院大学）、西地区部会長校（福岡大学）で確認することになった。
2. 「資料1. 東西役員校・当番校一覧」の西地区分（資料1-③）について、西地区部会長校（福岡大学・上畠）より、資料の修正（p. 51 中国・四国地区協議会 2031年度研究会幹事校 誤：岡山理科 ⇒ 正：岡山商科）の申し出があった。
3. 東地区部会長校（中央大学・渡来）より、東地区ブロックの理事校ローテーションについて「役員校等選考に関する申し合わせ事項」に沿って選考しているが、各図書館での専任職員数が減少していることから、選考条件（専任職員3名以上）を、今後、東地区役員会等で改正を諮る予定である旨の報告があった。また東地区部会長校（中央大学・工藤）より、国際図書館協力委員会委員についても同申し合わせ事項に沿って選考を進めるが、追記・修正が必要な部分については、事前に関係各所へ確認を行う旨の報告があった後、国際図書館協力委員長（中部大学・高木）より、東地区における選考条件の課題等について補足説明があった。さらに東地区部会長校（中央大学・工藤）より、西地区での選考条件について問合せがあり、西地区東海地区協議会理事校（金城学院大学・田中）より、役員校ならびに理事校のローテーションは学生数に応じて選考している旨の回答があった。